

学びの広場

次代を担う青少年の健全育成 民俗芸能伝承教室・洋上体験研修 ジュニアキャンプ

民俗芸能伝承教室

中学生伝承教室(町立体育館)
8月16日(金)～23日(金)
申込締め切り7月12日(金)
まつだ観光まつり
8月24日(土)

町の指定文化財である『松田大名行列の赤坂奴の奴振り』を伝承し、後世に残すため、大名行列保存会に依頼し、「民俗芸能伝承教室」を開催しています。

民俗芸能伝承教室は、中学生を対象に昭和63年に始まり、平成元年の町民体育大会の昼休みの時間を利用して17人の生徒により初めて町民の皆さんに披露されました。



昭和63年に始まった大名行列伝承教室を受け継ぐ松田中学校の生徒(昨年8月の観光まつり大名行列)

現在は、保育園児(24年度までは立花愛児園)や幼稚園児、小学生とともに「まつだ観光まつり」の大名行列の中で披露しています。

なお、大名行列伝承への取り組みとしては、松田小学校では、4年生の運動会種目に取り入れ、松田中学校では、今年度から1年生の「総合的な学習の時間」の中で取り組み、小・中学校ともに大名行列保存会の方々からご指導いただいています。

洋上体験研修

7月31日(水)～8月2日(金)
東海大学の「望星丸」で新島へ

広域連携中学生洋上体験研修事業は、松田町のほか秦野市、中井町、大井町、二宮町、清川村の中学生と共に、「市町村の枠を越えて、船上の集団生活を通して交流と連帯を深め、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える」ことを目的に実施します。

昨年度は、台風接近のため中止になり、2年ぶりの実施です。

主なプログラム

- ・秦野市役所へ集合(バスで清水港へ)
- ・乗船、出航
- ・夕食(デッキディナー)
- ・船の中に泊まります(2日目)
- ・新島で下船
- ・ウォークラリー、買い物、海水浴、湯の浜露天温泉
- ・乗船、出航
- ・洋上フェスティバル(班ごとに出し物)
- ・船の中に泊まります(3日目)
- ・大掃除
- ・海洋観測
- ・清水港着(バスで秦野市役所へ)
- ・秦野市役所で解散

ジュニアキャンプ

7月26日(金)～27日(土)
富士山こどもの国へ



23年度の洋上体験研修 青い海が広がっています

ジュニアキャンプは、小学校5・6年生を対象に「野外活動を通して、集団生活におけるルール

を学ぶと共に自然とのふれあいを体験することを目的に、教育委員会と青少年指導員会が主催して実施します。

昨年度は参加者数が70人という大勢の中で実施しました。親や学校の先生とは違った「地域の指導者」との体験活動は貴重だったのではないのでしょうか。

主なプログラム

- ・町民文化センターへ集合(1日目)
- ・町民文化センターへ集合(バスで出発)
- ・忍野村「森の中の水族館」見学(こどもの国到着)
- ・班ごとに体験活動
- ・夕食(カレーライス作り)
- ・ナイトウォーク(きもだめし)(2日目)
- ・こどもの国で活動
- ・朝のつどい、班ごとに体験活動
- ・片付け(バスで帰路へ)
- ・町民文化センター到着、解散



昨年度のジュニアキャンプ 『おいしいカレーライス作り』

民俗芸能伝承教室、洋上体験研修、ジュニアキャンプの問い合わせ 教育課生涯学習係 ☎(83) 7023

中学校部活動各種大会の結果

<p>松田中卓球部</p> <p>・小田原卓球協会大会カデットの部 優勝</p> <p>・県西ブロック春季大会 準優勝</p> <p>・県学年別大会県西予選会(1年の部) 3位</p> <p>すぎうちゆうさく 杉内優作</p>	<p>優勝・準優勝</p> <p>ほさかなおみ 保坂直巳</p>
<p>準優勝</p> <p>はらだりゆうた 原田涼太</p> <p>さいとうなつき 齋藤夏生</p>	<p>優勝</p> <p>すずきゆうた 鈴木優太</p> <p>えがわせいや 江川誠也</p>

・足柄上南春季大会

いにしへの道標(どうひょう)

江戸時代に入って産業が発達し、交通量が増えるにつれ、相模の国においては東海道の脇街道として矢倉沢往還が重要な街道となってきました。この道は古代、中世からあった足柄道ともほぼ重なり、当町も通っています。

松田の文化財探訪

「歴史的石造物」その11

町文化財保護委員 平賀康雄



下茶屋の道標

江戸赤坂御門(青山)から相模の国足柄峠を経て駿河の国沼津宿を結ぶので青山街道、または大山や富士山への主要道であることから大山道、富士道、さらには最乗寺道とも呼ばれました。さて、これらの幹線道に限らず、古くからある道の所々には方向や分岐を示す「いにしへの道標」ともいふべきものが残っています。木製のものは朽ちて

王坐像に「大山道、川上そぶつ(塔ヶ岳)道、川下ふじみち、さい志やうじみち」、寄地区福昌院裏口に「右小田原道、左はたの道」他の道標があります。

なお、江戸からの距離を示す一里塚なども道標の類ですが、やや規模の大きなものなので、現在では道路拡張工事などのためほとんど消滅しています。

※「さい志よう寺」は「最乗寺」

しまい、現在まで残っているのは石造の道標のみとなっています。よく見かけるのは「従是大山道」、「右富士山道、左小田原道」等があり、多くは馬頭観音とか不動明王等の供養塔を兼ねています。

町内では、下茶屋地区(写真)に「左ふじ道、さい志よう寺」、惣領地区に「ふじ道」、松田一